

2010.05.18

中小企業庁

中小企業の会計に関する研究会

中小企業の会計のあり方に関する意見（レジメ）

愛知産業株式会社

木村拙二

1. はじめに
愛知産業の会計書類の作成と利用の現状
2. 会計と税制の乖離の実例
 - (1) 不良債権の償却
 - (2) 棚卸資産
 - (3) 引当金
 - (4) 減価償却
3. IFRS 導入による事業活動面への影響
 - (1) リース会計→中小企業の設備投資低下
 - (2) 退職金会計→退職金制度廃止
 - (3) 売上計上基準→商品運送方法の見直し
 - (4) 棚卸計上方法→在庫品の時価評価
 - (5) 減価償却・減損会計→二重帳簿管理
4. 中小企業会計の望ましい検討の方向
 - (1) 国際化の影響を遮断
 - (2) 確定決算主義を維持
 - (3) 中小意企業の成長に資するもの
 - (4) 分かりやすく、使い易いもの
 - (5) 事務負担・コスト負担の軽いもの

以上